

星教授(浜松大)ら「高柳賞」

中区で贈呈式



高柳記念賞を受け、表彰される星詳子教授を
＝浜松市中区のホテルクラウンパレス浜松で

電子科学分野で顕著な業績を上げた研究者や団体をたたえる「第三十二回高柳賞」の贈呈式が十六日、浜松市中区のホテルクラウンパレス浜松であり、星詳子・浜松医科大学教授に記念賞が贈られた。

世界で初めてブラウン管に映像を映し出した故高柳健次郎の功績を記念し、浜松電子工学奨励会が賞を設けた。星教授は、近赤外線での人の血糖値や代謝の機能を可視化し、がんなどの診断につながる技術の開発に

尽力した。

畑中義式理事長が「日本の電子技術が、テレビ技術をもつて世界平和を先導するようなものとなってほしい」とあいさつ。記念賞、研究奨励賞を受けた五人に賞状などを手渡した。

受賞者を代表し、星教授が「三十年この研究をやってきた。本当に光栄」と語った。(古根村進然)

研究奨励賞を受けたのは次の皆さん。

▽伊東聡・富山県立大准教授、仙石哲也・静岡大准教授、服部知美・静岡理工科大准教授、本蔵直樹・浜松医科大学助教